

平成30年度総会開催



6月16日京都平安ホテルにおいて、各連盟、部会、市町村協会等関係者など約200名出席のもと今年度の総会が開催されました。兒玉幸長代表理事の挨拶に続き、平成29年度決算及び役員、名誉役員の改選が審議されました。



また、先に理事会承認のあった前年度事業報告、30年度事業計画、予算そして競技規則の変更が報告されました。続いて、湯浅暢宏専務理事から平成30年度「協会運営方針」が説明されました。

今年度は役員改選の年であり、以下の方々任期2年の理事・監事に選出されました。また、名誉役員も承認され、協会運営役員の各部部长、委員長等も報告されました。

名誉顧問に新しく作本信夫雄氏が、副会長に新しく山本綱義、湯浅暢宏、小林雄二、浅井俊郎の各氏が選出されました。(敬称略 〓は新任)

< 理事・監事 >

代表理事 兒玉幸長
副代表理事 加藤盛司
学識理事 長谷川佐喜男 泉 貴智 谷 明憲
中村直登 磯野 勝
常任理事 湯浅暢宏 小林雄二 吉田裕司 橋本雅子
高田典彦 庄田雅一 西田和史
事務局 西井 功
監 事 松本啓二 田中 明

< 名誉役員 >

名誉会長 石川俊紀
会 長 兒玉幸長
副会長 山本綱義 蛭子正幸 湯浅暢宏 小林雄二
浅井俊郎
名誉顧問 藤野英雄 手塚 純 作本信夫雄
特別顧問 齊藤 茂 福山哲郎
顧 問 國松健一 細川 磐 吉田愛子 廣谷和夫
石塚和弘 吉岡雅美 富居 富 羽生清美
作本正隆 田中義彦 木村文子 岡田孝夫
福井真介 桶谷 良 木村将裕 中嶋正治
参 与 芦田 宏 安達敏明 穴澤俊男 上田澄恵
岡 實 岡田 淳 川崎泰子 北村朋彦
木下 暁 隈美智男 甲良泰明 小林英二
佐伯紘史 志賀 勉 関 吉廣 高橋祝雄
田中幸信 谷 祐輔 田村直義 坪野陽一郎
戸井田和具 野老 稔 内藤行雄 西村 稔
久田誠次 藤田文輔 藤本堂之 穂積 豊
麓 信之 俣野妙子 山田信吾

名誉役員のみなさま



(小林、福山、作本信、藤野、手塚、石川、山本、蛭子、湯浅各氏)

2018~2019 年度運営組織

総務部 (部長 西井 功)
総務委員会 (長)古市保子 (副)東田美香
財務委員会 (長)佐々木直美(副)西垣吉朗 山本理恵
裁定・規律委員会 (長)福井真介 (副)中田邦和
競技部 (部長 南條良樹)
競技会委員会 (長)浜田裕三
(副)渡邊直裕 武藤浩平 中川勝彦
記録委員会 (長)藤田毅 (副)岩川秀行 松村郁輔
Bリーグ委員会 (長)安田良平 (副)佐々木和子
Uカテゴリー統括部 (部長 西田和史)
ユース育成委員会 (長)福嶋一夫
(副)神田薫 小西正宏
U-18部会 (長)岩崎健太
(副)青山晋平 布施修平 近藤理大
U-15部会 (長)岩崎広行
(副)原秀樹 上田寛 麻生卓志
U-12部会 (長)原田勝之
(副)戒健司 野村晴美
強化部 (部長 庄田雅一)
国体強化委員会 (長)村上和之 (副)林綾
生涯スポーツ委員会 (長)夏山賢次 (副)中西仁美
スポーツ医科学委員会 (長)上野盛夫 (副)日暮恭子
指導者育成部 (部長 伊藤昌也)
講習会企画実施委員会 (長)村山得太郎 (副)木村勲
ライセンス管理委員会 (長)志水伸之 (副)上田健介
審判部 (部長 岩木太郎)
審判委員会 (長)富島健司
(副)中澤久馬 小出聡子 高野杏実
TO委員会 (長)川路宗勅 (副)赤井正史 鍋島幸富
3×3審判・TO委員会 (長)伊藤亮介
(副)川路宗勅 田中智也
3×3部 (部長 堤 隆司)
普及・強化委員会 (長)篁嘉朗 (副)遠光悠祐
競技委員会 (長)畑中慎一郎 (副)山田将樹 藤堂慈
福井国体スタッフ
ヘッドコーチ 山下直哉 事務担当 林綾
成年男子 玉島大蔵 瀬戸山京介 藤堂慈
成年女子 野老稔 渡邊直裕 松浦祐子
少年男子 吉田裕司 大澤徹也 小野大輔
少年女子 吉田聡 土本光宏 中澤久馬

功労者表彰式

平成30年度総会時に協会功労者表彰を行いました。今年度は5名の方が受賞されました。

関吉廣（せき よしひろ）様

昭和55年に亀岡ミニバスケットボール教室を開講、それ以来亀岡市、南丹市で多くのミニバスケットボールチームの設立に関わられました。昭和58年度に京都ミニバスケットボール連盟設立の発起人とし

て加わり、自らも亀岡ミニバスケットボールチーム、城西ミニバスケットボールチームの監督として全国大会へ出場されました。

平成23年からは京都丹波バスケットボール招待交流会を立ち上げミニバスケットボールの普及発展に貢献されました。

橋本洋江（はしもと ひろえ）様

長年にわたり、ミニバスケットボール及び中学のバスケットボールを通して青少年のバスケットボールプレイヤーの育成に尽力し京都府代表選手等を育てられました。

また、向日市バスケットボール協会の設立に多大なる貢献をし、府民総体向日市チームの監督として毎年好成績を収めるとともに向日市のバスケットボールの普及発展、競技力の向上に努めた功績は多大です。

（故）岩本熙俊（いわもと きしゆん）様

平成11年度より協会の理事に就任、協会行事に積極的に参画してこられた功績は多大です。また、強化部医科学委員会に所属し幅広い見識を生かし、協会役員や選手に向けた競技の安全安心及びリハビリテーション等のサポートを行い、協会関係者から高く評価されました。

当日はご子息の岩本茂生様が記念品を受け取られました。



井上正毅（いのうえ まさき）様

平成17年度より協会理事として、振興普及部副委員長等を歴任されました。強化部時には国体成年男子チームの支援コーチを務めるなど京都府の競技力の向上に尽力いただきました。

南丹市八木町の地域クラブの運営を20年間、さらに京都市のクラブチームの支援も行い、全日本マスターズにも選手・コーチとして参加し監督やコーチとしての活躍も周囲からの信頼と評価は絶大なものです。

杉山茂昭（すぎやま しげあき）様

昭和55年度より京都府高等学校体育連盟バスケットボール専門部の指導者として京都府北部地区の高校でバスケットボールの振興普及及び強化に尽力されました。

府北部高体連の専門部副委員長・委員長として13年間、また綾部市バスケットボール協会の理事長・副会長を歴任し北部地域の組織運営にも携われました。

選手育成の分野においても多くの国体候補選手の育成や、北部の高校チームを幾度となく府大会ベスト8や近畿大会に導くなど、指導者としてまた組織運営者としての多大な貢献をされました。



（橋本様、井上様はご欠席）

京都府体育協会 有功賞受賞

今年度の公益財団法人京都府体育協会功労者表彰式において当協会参与の麓信之（ふもと のぶゆき）様が有功賞を受賞されました。

京都府実業団バスケットボール連盟で長年にわたり理事長として運営に携わり、協会競技部競技副委員長としてもご尽力いただきました。麓様からお礼のことばを頂戴しました。

旧・京都実業団バスケットボール連盟理事長
麓 信之



この度、平成30年6月9日に（公財）京都府体育協会のスポーツ功労賞を（一社）京都バスケットボール協会の皆様の推薦を頂き、受賞し誠にありがとうございます。

私は三菱電機（株）京都製作所（長岡京市）に入社、昭和45年（1970年）10月に構内に体育館完成と同時に洛菱会バスケットボール部が創部されたのをきっかけに、選手としての実績は無かったので、練習への参加とマネージャーとして活動が始まりました。

京都実業団バスケットボール連盟で競技運営を手伝い始めたのは三菱電機洛菱会バスケットボール部が1部に定着した昭和52年（1977年）頃からで、実連とクラブ連が西京極体育館において同時開催でリーグ戦を行っている時期に國松健一氏、藤野英雄氏、廣谷和夫氏、故國松幹二氏他、連盟の皆様のご指導を受

けながら、また京都バスケットボール協会の競技運営にも同時期から関わるようになりました。

昭和63年の2巡目京都国体他、京都インターハイ、近畿ミニ国体、京都府民総体、協会のバスケットボールカーニバル、北部カーニバル、旧日本リーグ、JBL、WJBL等協会主催事業では皆様のご指導を受けながら役員の一員として活動することが出来ました。

平成9年(1997年)からは京都バスケットボール協会の競技の理事に加えて頂き、競技副委員長も務めさせて頂きました。

京都実業団バスケットボール連盟では故国松幹二氏の逝去により平成15年(2003年)より競技委員長を引き継ぎ、平成19年(2007年)三輪弘次氏から理事長(競技委員長を兼務)を引き継ぎ平成29年度(2017年度)まで務めさせて頂きました。

(一社)京都府バスケットボール協会、京都実業団バスケットボール連盟での活動も皆様のご指導、ご協力が無ければ出きるものではありませんでした、功労者表彰受賞は皆様のお陰以外にありません。誠にありがとうございます。

平成30年度(2018年度)からは実連、クラブ連、女性連、教員連盟が統合して京都府社会人バスケットボール連盟が発足し活動を開始しましたが皆様のバックアップをお願いします。

最後になりましたが、これからの(一社)京都バスケットボール協会及び各連盟のより一層の発展を祈念致します。

社会人連盟総会開催

2017年12月8日に設立された京都府社会人バスケットボール連盟の総会が6月30日に開催されました。会長には元クラブ連盟の小林雄二氏が、理事長には元女性連の橋本雅子氏が就任されJBAが推進する新しい社会人リーグが発足しました。

今後の発展を大いに期待し、皆様の盛大な応援をお願いします。

京都産業大学 西日本学生準優勝

男子第68回西日本学生バスケットボール選手権大会を振り返って



京都産業大学 男子バスケットボール部
監督 村上 和之

2011年に優勝してから7年ぶりに決勝戦へ駒を進めることが出来ました。3点差で敗戦し準優勝で閉幕しました。優勝を目指していただけに悔しい結果とな

りましたが、近年この大会ではベスト8の壁を打ち破ることができず、私もチームも大変苦しんできました。何とかこの状況を打破するべく、全員で取り組んだ成果として優勝が掴めそうなところまでできたことは、一歩前進できたかなと感じています。

私が考える勝利の方程式は、80-60(1Q 20-15)という得失点バランスがベストゲームだと考えます。毎試合ベストゲームにするために、必要な要素を攻守の両面から細かく分析しました。まず、本学の伝統である【堅守速攻】に磨きを加え、そしてオフェンスでの数的優位な状況の構築。次に、ディフェンスでは、ペイントエリア内での失点を減らすことに拘り、確率の悪いシュートを選択させることができるようなチームディフェンスを確立し、日頃の練習から計画→実行→評価→改善を実行してきました。その結果として、今大会では全6試合平均得点92点、平均失点68点(決勝戦は、70-73で敗戦)と手応えは感じています。今のチームレベルから見れば失点68点は悪くはないが、我々の目標は日本一。インカレを戦うためには今以上にディフェンスの精度を高め中身のあるトレーニングをしていく必要があることが明確となりました。学生スポーツの指導者として様々な観点から目標を見据えた課題を明確にし更に高みを目指し精進して行きたいと考えています。

最後に、この西日本バスケットボール選手権大会は、私が母校の監督職を引き継いでから6回目の出場になります。この歴史ある大会で、本学は16回優勝をしています。私が学生の頃には、前人未到の9連覇を石川俊紀前監督が成し遂げました。この偉大な記録に少しでも近づくことを目標とし、古豪復活を目指し責任と覚悟を持って結果にも拘り勝負したいと思います。そして、京都府バスケットボール協会に登録されているチームが様々な分野でご活躍されることを期待し、益々の京都府協会の発展を願っております。

全国高校総体(インターハイ)への抱負

京都精華学園高等学校バスケットボール部
監督 山本 綱義



本校は今年で6年連続のインターハイ出場であり、チームとして何とかしなければならぬと決意しています。近畿大会や全国大会において京都の女子チームはなかなか上位進出が困難であり、本校も何度も挑戦していますが、近畿大会で準優勝、ウィンターカップではベスト16が精一杯の成績であり、それ以上の結果は出せていません。京都の代表として多くの皆様方の期待を背にしながらも、いつも申し訳なく思っています。

今年の本校のチームは、昨年9月から指導者が変わり、選手たちの間に戸惑いがある中で何とか強い結

束を生み出し、良い結果が出せるよう努力を重ねてきました。私は京都精華学園に奉職して以来44年間高校バスケットボール部を指導してきましたが、平成28年8月から公務の事情により約1年間高校のチームから離れ、中学を中心に指導してきました。昨年9月から再び高校のチームを見ることになり、奮闘努力を続けています。ここに来てようやく精華学園らしさが顕著になり、一枚岩になって闘える環境が整ってきました。選手たちは、少しでも上位に食い込めるように熱い思いをもって、毎日ハードな練習に励んでいます。皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

東山高等学校バスケットボール部
コーチ 大澤 徹也



今年のチームは、昨年同様ハーフコートオフェンスを武器にガード、フォワード、センターの軸を作ること意識してチーム作りを始めました。インターハイ予選の決勝では第1ピリオドで先行されたが慌てることなく自分たちのペースで試合を進めることができました。内容的にはまだまだでしたが4年連続で優勝するための見えないプレッシャーに勝つことができたのは最上級生である3年生の力が大きかった。その3年生の意地とチーム全員の気持ちを一つにして毎日練習できたことが優勝の一番の要因であったと感じます。その雰囲気インターハイの本戦まで継続できるように意識して、日々努力しています。

8月2日より愛知県一宮市で開催されるインターハイでは京都府の代表としてプライドを持って戦い、目標である「日本一」を達成できるように頑張ります。初戦の入り方を大切にして自分たちのバスケットボールができるように、また、暑さなど環境への適応などもチームで対応できるように、しっかりと準備をして大会に挑みたいと思っています。

市町村協会等協議会総会開催

6月16日京都平安ホテルにおいて京都府市町村バスケットボール協会等協議会総会が開催されました。京都府内の23市町の代表が出席され、岡田孝夫会長の挨拶に続き、京都府協会の児玉幸長会長から「日本協会から市町村協会と連携して地域バスケットの発展に寄与するよう指示があること」等、日本のバスケット界の話があり、その後、決算審議そして活動内容等の報告がありました。



また、本総会では今年度から京都府民総合体育大会（1次大会：向日市、2次大会：舞鶴市）の組み合わせ抽選がおこなわれ、引き続き今後の府民総体について各市町村協会から貴重な意見交換がされました。



市町村のバスケット関係者は、総会后に府協会総会と意見交換会にも参加され、京都のバスケット発展の為に地域における活動強化と府民総体を通じての連携を確認されていました。

京都バスケットボールを愛する会

いつまでもバスケットボールを愛し、京都のバスケットボールが、もっと盛んになることを願う人の集まりで、会員の親睦を図り、京都のバスケットボールの振興、発展に資するため次の事業を実施しています。

①懇親会とBリーグ・WJBL等のゲーム観戦
(年に1回開催)

②会員の意見や提言、会の動向を掲載した会報「京都バスケットボールを愛する会」を年一回発刊、全会員に配布します。

③その他、会員のための必要な事業。

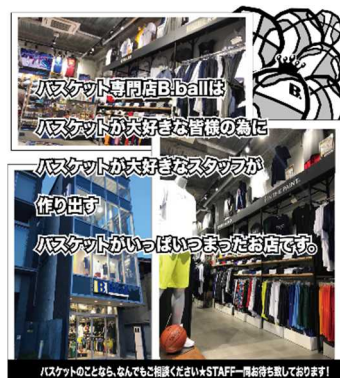
会費：8,000円(年額)、年会費、懇親会会費、試合観戦を含む。

会員登録：総会を兼ねた懇親会開催のお知らせ時に加入を確認し更新手続きができます。

現会員数：100名超
多くの方のご加入をお待ちしています。会についてのお問合せ、ご質問は以下にお願いします。

会長：手塚 純
(090-2010-1352)

事務局：山内 壽
(090-1486-8567)



B.Ball 京都店
DABERS COLLECTION

〒600-8103 京都市下京区五条通明町東入風巻町374 TEL:075-352-3905

2018-19シーズン 京都ハンナリーズホームゲームスケジュール (12月まで)

節	日程	時間	対戦相手	会場
1	10月12日 金	19:05	横浜ビー・コルセアーズ	ハンナリーズアリーナ
2	10月13日 土	14:05		
3	10月17日 水	19:05	琉球ゴールデンキングス	向日市民体育館
4	10月27日 土	18:05	アルバルク東京	ハンナリーズアリーナ
5	10月28日 日	14:05		
6	11月7日 水	19:05	大阪エヴェッサ	ハンナリーズアリーナ
7	11月10日 土	18:05	三遠ネオフェニックス	ハンナリーズアリーナ
8	11月11日 日	14:05		
9	12月8日 土	14:05	秋田ノーザンハピネッツ	三段池公園総合体育館 (福知山)
10	12月9日 日	14:05		
11	12月15日 土	18:05	シーホース三河	ハンナリーズアリーナ
12	12月16日 日	14:05		
13	12月26日 水	19:05	ライジングゼファー福岡	ハンナリーズアリーナ